

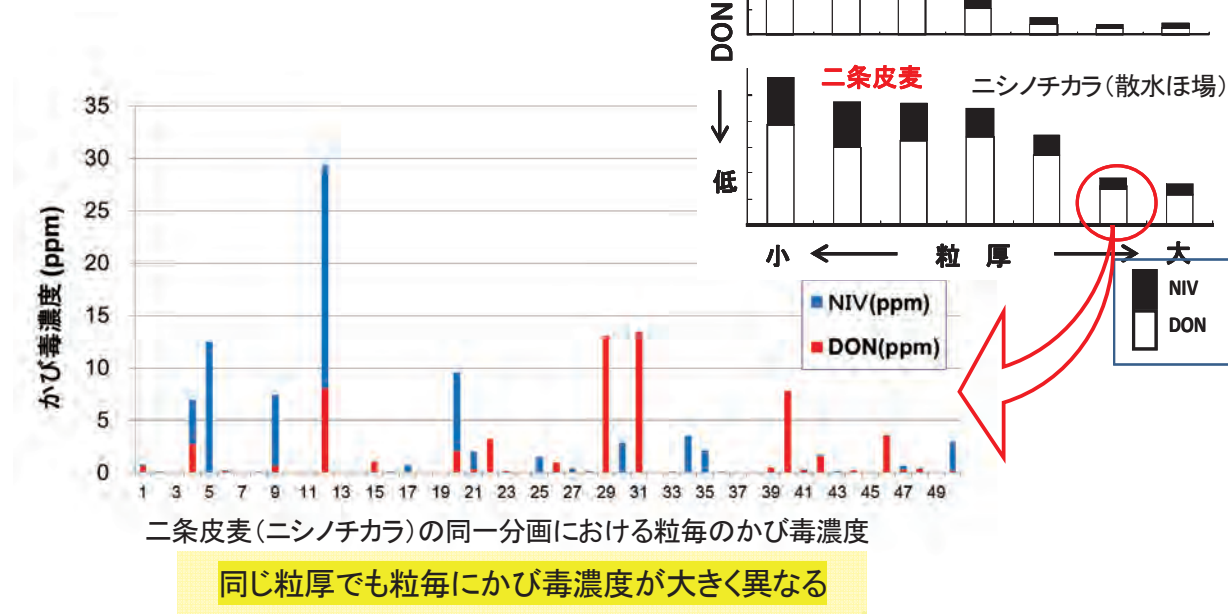
大麦のかび毒汚染試料における粒厚選別の効果

【成果の特徴】

小麦では収穫後の粒選別（粒厚，比重，色彩等）によってかび毒の低減が可能なことから，大麦についても粒選別によるかび毒低減効果を検討しました．その結果，粒厚選別は大麦のかび毒低減に有効であることが明らかになりました．

【成果の内容】

大麦の粒厚が大きくなるほどかび毒濃度が低くなる傾向が認められました．粒厚選別によるかび毒低減効果は，裸麦，皮麦の両方で認められ，特に六条裸麦では顕著でした．



新たな粒選別法の開発により大幅なかび毒低減が可能

【文献・特許】

- 1) 吉田めぐみほか，2011，日本植物病理学会報，77, 172.
- 2) 吉田めぐみほか，2010，赤かび病研究会第11回資料，23-24.

【研究担当者氏名（所属機関名）】

吉田めぐみ*1・宮坂篤・中島隆*2・井上博喜・川上顕・鈴木文彦*3・平八重一之（農研機構九州研）

*1：現農林水産技術会議事務局，*2：現農研機構本部，*3：現農研機構中央研